

令和元年台風第19号の被害と対応状況

令和2年2月



茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課

那珂川水系藤井川決壊地点(水戸市)

目次

- 1 令和元年台風第19号による被害の状況
- 2 茨城県の対応状況について
- 3 人的支援の受入・市町村派遣について
- 4 災害からの復旧状況について
- 5 令和元年台風第19号の課題と方向性について

1 令和元年台風第19号による被害の状況

1 人的・建物被害

(令和元年12月24日 現在)

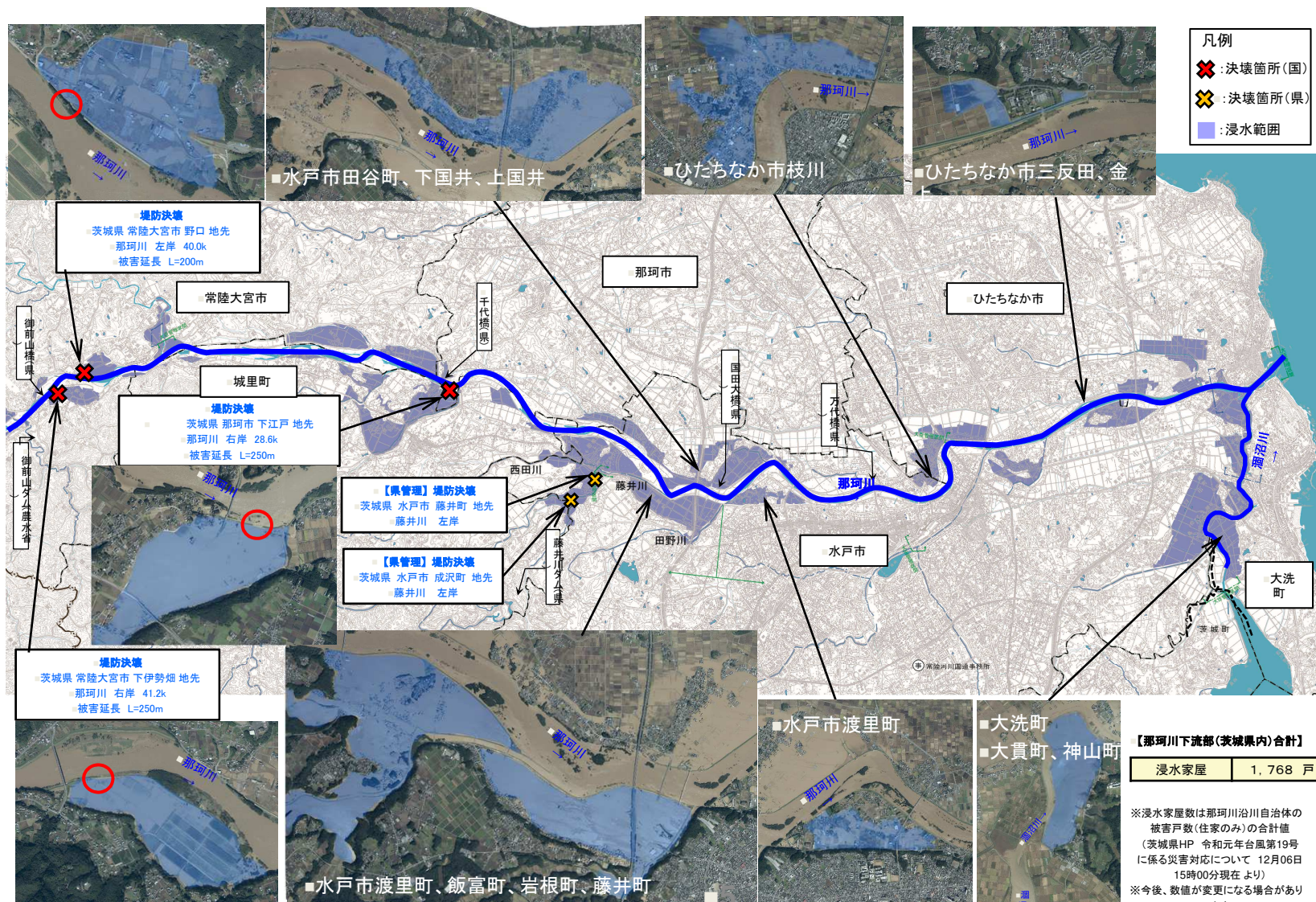
(1) 人的被害	死亡	2 名	桜川市 1, 大子町 1
	重症	0 名	
	中等症	7 名	水戸市 1, 常総市 1, 北茨城市 2, 常陸太田市 1, 大子町 1, 境町 1
	軽症	1 3 名	水戸市 1, 日立市 1, 土浦市 5, 龍ヶ崎市 1, 常総市 1, ひたちなか市 1, 筑西市 1, かすみがうら市 1, 行方市 1
	行方不明	1 名	常陸大宮市 1
(2) 建物被害 (非住家含む。)	全壊	2 9 2 棟	1 0 市町
	半壊	2, 3 9 7 棟	1 9 市町
	一部損壊	1, 8 2 1 棟	3 9 市町
	床上浸水	5 9 棟	7 市町
	床下浸水	5 4 4 棟	1 5 市町

2 県内の河川の決壊等の状況

	被害状況
(1) 国管理河川	6河川／14箇所(堤防決壊 6箇所, 溢水等 8箇所)
(2) 県管理河川	59河川・2砂防施設・3海岸・1ダム／ 135箇所 (堤防決壊 6箇所, 溢水等 129箇所)

1 令和元年台風第19号による被害の状況（那珂川水系那珂川）

○那珂川では河川水位が氾濫危険水位を大幅に超過し、堤防の決壊及び越水・溢水被害が発生しました。



1 令和元年台風第19号による被害の状況

久慈川溢水(常陸大宮市富岡地内 10月13日)



道路冠水(県道常陸大宮御前山線 10月13日)



水郡線落橋(大子町袋田地内)



大子町役場浸水被害



2 茨城県の対応状況について

日付	市町村対応等を含む出来事		本県の対応		国・関係機関の対応	
R1.10.11			10:30	県庁で台風説明会兼災害情報連絡担当者会議開催 (水戸地方気象台と共催)		
			17:00	避難勧告等発令判断支援班設置		
			18:00	1班夜勤体制(防災・危機管理部)		
10.12			8:30	配備体制2へ移行	9:00	水戸地方気象台, 東京電力県庁へ職員派遣
			12:00	災害警戒本部を設置		
			14:00	災害警戒本部会議開催		
	19:00	台風上陸	19:00	災害対策本部設置		
	19:50	大雨特別警報発表	20:00	内閣府から災害救助法適用の打診 →同日付で適用決定。 最終的に30市町村適用		
	22:00	久慈川(大子町内)越水				
10.13			0:25	大子町の要請を受け, 自衛隊へ災害派遣(以後,夜間に大子町外5市町へ災害派遣要請)		
	4:00	久慈川(常陸大宮市内)越水	8:00	職員5分の1体制へ移行		

2 茨城県の対応状況について

日付	市町村対応等を含む出来事		本県の対応		国・関係機関の対応	
10.13			9:30	第1回災害対策本部会議開催		総務省，内閣府，水戸地方気象台等の防災機関から日最大で，14機関31名が県庁へ職員派遣（10月21日10時）され，災害対策本部会議に出席
			16:00	第2回災害対策本部会議開催		
10.14			23:27	水戸市に総括支援チーム派遣決定		
10.15			10:00	第3回災害対策本部会議開催		
			23:18	常陸太田市，常陸大宮市，城里町，大子町に対口支援決定		
10.16			15:49	水戸市に対口支援決定		
			17:00	第4回災害対策本部会議開催		
10.18			13:00	第5回災害対策本部会議開催		
10.23			16:00	第6回災害対策本部会議開催		
10.25		被災者生活再建支援法適用（第1条第3号適用 全市町村（44）対象）				
10.29		激甚災害の指定閣議決定				
11.19			13:00	県議会 臨時会開催（1日間）		
12.24			10:00	災害対策本部の廃止		

3 人的支援の受入・市町村派遣について

(1) 対口支援団体等

	対象市町	主な従事業務	派遣期間	派遣者数 (延べ人数)
京都市	水戸市	総括支援 住家被害認定調査 被災者生活再建支援相談	10/15～10/31	120人
島根県	常陸太田市	住家被害認定調査 公共土木災害査定	10/16～10/31 11/5～12/25	76人 76人
岡山県	常陸大宮市	住家被害認定調査	10/16～10/21	69人
浜松市	城里町	住家被害認定調査	10/16～10/22	78人
福岡市	大子町	住家被害認定調査	10/16～10/25	121人
合計				540人

(2) 市町村支援チーム及びリエゾンの派遣(茨城県職員)

対象市町	派遣期間	派遣者数(延べ人数)
水戸市	10/13～10/29	28人
常陸太田市	10/15～11/1	31人
常陸大宮市	10/13～10/31	30人
城里町	10/16～10/22	11人
大子町	10/13～10/31	35人
合計		135人

※ 左表以外に、県内各市町村から職員が派遣されている。

3 人的支援の受入・市町村派遣について

(3) 現地活動状況

災害対策本部会議出席(常陸大宮市)



住家被害認定調査の準備(大子町)



住家被害認定調査(常陸太田市)



罹災証明書の交付(城里町)



4 災害からの復旧状況について

(1) 罹災証明書の申請・交付状況

(令和元年12月24日 現在)

申請件数	3,254件(41市町村)	水戸市707, 常陸太田市349, 常陸大宮市525, 城里町123, 大子町519, その他1,031
交付件数	3,166件(41市町村)	水戸市650, 常陸太田市349, 常陸大宮市525, 城里町122, 大子町519, その他1001

(2) 被災者への公営住宅の提供状況

(令和元年12月24日 現在)

入居形態	戸数	内訳
県営住宅	94戸	水戸市69, 常陸太田市1, ひたちなか市3, 常陸大宮市12, 神栖市6, 城里町3
市町営住宅	72戸	水戸市6, 常総市1, 常陸太田市15, ひたちなか市4, 常陸大宮市24, 那珂市1, 城里町4, 大子町17
国家公務員宿舎	5戸	水戸市5
賃貸型応急住宅	13戸	水戸市7, 常陸大宮市6
建設型応急住宅	17戸	常陸大宮市9, 大子町8
合計	201戸	

5 令和元年台風第19号の課題と方向性について

○ 課題と方向性

- ① 国管理河川・県管理河川において多数の氾濫が発生した。
 - ⇒新設河道の流下能力の向上を図る取組の推進
 - ・河道の土砂掘削, 樹木伐採による水位低減 等
 - ⇒水位計や河川監視カメラの増設
- ② 多数の住民が逃げ遅れ, 328名が消防や警察により救助された。
 - ⇒マイ・タイムライン等作成の講習会の充実
 - ⇒要配慮者利用施設における避難確保計画作成の推進
 - ⇒市町村の避難勧告等の発令基準等の検証(必要に応じた見直し)
- ③ 大子町庁舎が浸水した。
 - ⇒市町村における業務継続計画の作成推進, 実効性の確保
- ④ その他
 - ・広域避難の推進, 課題を踏まえた対策(県内では2市町が広域避難を実行)
 - ・大規模停電時における東京電力や市町村との連携強化。倒木処理の役割分担。